

1 ゴボウシ

2 生薬の性状の項を次のように改める。

3 生薬の性状 本品はやや湾曲した倒長卵形のそう果で、長さ5
4 ～7 mm、幅2.0～3.2 mm、厚さ0.8～1.5 mm、外面は灰
5 褐色～褐色で、黒色の点がある。幅広い一端は径約1 mmの
6 くぼみがあり、他端は細まり平たんで不明瞭な縦の隆起線が
7 ある。本品100粒の質量は1.0～1.5 gである。
8 本品はほとんどにおいがなく、味は苦く油様である。
9 本品の横切片を鏡検(5.0I)するとき、外果皮は表皮から
10 なり、中果皮はやや厚壁化した柔組織からなり、内果皮は1
11 細胞層の石細胞層からなる。種皮は放射方向に長く厚壁化し
12 た表皮と数細胞層の柔組織からなる。種皮の内側には内乳、
13 子葉が見られる。中果皮柔細胞中には褐色物質を、内果皮石
14 細胞中にはシュウ酸カルシウムの単晶を、子葉には油滴、ア
15 リューロン粒及びシュウ酸カルシウムの微小な集晶を含む。
16
17